令和２年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の

点検及び評価報告書

南富良野町教育委員会

～ 目　　次 ～

１　「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について・・・　１

２　教育委員会会議等の開催状況　・・・・・・・・・・・・・・・　２～３

３　教育長及び教育委員の主な活動状況　・・・・・・・・・・・　４～６

４　児童生徒の活動状況（部活動等）　・・・・・・・・・・・・　７～９

５　教育行政執行方針の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０～１２

６　教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事業一覧　・・・　１３～１５

７　事務・事業等の点検・評価の方法・・・・・・・・・・・・・　１６

８　事務・事業点検・評価シート・・・・・・・・・・・・・・・・　１７～４０

９　前年度点検・評価対象事務・事業の状況・・・・・・・・・・　４１～４３

10　学識経験者　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４４

11　教育委員会の組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４５

１「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について

（１）点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、同法第 26 条の規定に基づき、令和２年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

（２）点検及び評価の対象

令和２年度の「教育行政執行方針」に基づき教育委員会が実施した主な事務・事業を対象として、自己点検及び自己評価を行います。

又、教育委員会や各種審議会の会議の開催状況や教育委員の活動状況、児童生徒の部活動等における活動状況なども報告しています。

（３）点検及び評価の方法

（ア）点検及び評価の観点

教育委員会会議の開催状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、事務・事業等については、事業の実績や成果等から達成度及び効果度に着目して評価し、そのうえで総合評価を行い、課題等を踏まえ、今後の取組の方向性や方策等を明らかにしています。

（イ）学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った活動状況や事務・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

2 教育委員会会議等の開催状況

令和２年度における教育委員会会議及び教育委員会が所掌する各種審議会等の開催状況は、次のとおりです。

（１）教育委員会会議開催状況

①教育委員会会議

区　分	期　　日	付　議　事　件
第３回	令和２年５月 20 日	・令和２年度教育費補正予算（第１号）について ・令和２年度要保護準要保護児童生徒の認定について ・南富良野町立高等学校職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・南富良野町働き方アクションプランの改正について ・南富良野学運営協議会の設置について
第４回	令和２年７月 16 日	・令和２年度教育費の補正予算（第２号）について
第５回	令和２年８月 27 日	・令和３年度から使用する中学校用教科用図書の採択について
第６回	令和２年９月 15 日	・令和２年度教育費の補正予算（第３号）について ・令和元年度教育行政評価報告書の提出について
第７回	令和２年 12 月７日	・令和２年度教育費の補正予算（第４号）について ・指定管理管理者候補者の選定について
第１回	令和３年１月 29 日	・令和２年度要保護準要保護児童生徒の認定について
第２回	令和３年２月 26 日	・令和３年度要保護準要保護児童生徒（新入学・中学校修学旅行分）の認定について ・令和２年度教育費の補正予算（第５号）について ・令和３年度教育費等の予算について
第３回	令和３年３月 26 日	・教職員人事異動について ・教育委員会の人事について

教育委員会会議は、月１回程度開催することとしておりますが、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況などから緊急事態宣言が発令されるなど厳しい状況ではありましたが、令和２年度は８回を開催し、教育に関する様々な案件について検討し、議論・議決を行いました。

会議については教育委員会の合議制の観点から全ての委員が出席した中で各種議題の審議を行うよう開催日時の調整に努めます。

今後においても、教育を取り巻く課題等に対応した施策の推進に向けて、十分な議論や審議を行っていく必要があると考えています。

2 教育委員会会議等の開催状況

（2）各種委員会議等開催状況

①南富良野町総合教育会議

区　分	期　　日	協　議　事　項
開催なし。		

②いじめ対策協議会

区　分	期　　日	協　議　事　項
開催見送り		

③社会教育委員の会＆スポーツ推進委員協議会合同会議

区　分	期　　日	審　議　事　項
第1回	令和2年7月13日	・新型コロナウイルス感染症対策について ・令和2年度事業計画について ・子ども朝活事業及び子どものための体験活動について
第2回	令和3年3月25日	・令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について ・社会教育委員の任期満了について

④スポーツ推進委員会議

区　分	期　　日	審　議　事　項
社会教育委員と合同開催		

⑤文化財審議会

区　分	期　　日	協　議　事　項
第1回	令和3年2月24日	・書面会議 ・南富良野町史跡「下金山清水農場跡」について

教育委員会に設置している主な審議機関等では、それぞれの分野における議題について審議をしてきております。

今後は、各審議機関等において定期的な開催により審議を深め、南富良野町の教育の推進を図っていくよう努めてまいります。

３ 教育長及び教育委員の主な活動状況

令和２年度における教育長及び教育委員の主な活動状況は、次のとおりです。

（１）教育委員の活動実績

区　分	行　事　名　等	場　所
平成２年４月２日	令和２年度教職員辞令交付式及び着任式	役場大会議室
平成２年４月７日	南富良野小学校入学式	南富良野小学校
	南富良野西小学校入学式	南富良野西小学校
	南富良野中学校入学式	南富良野中学校
平成２年４月８日	南富良野高等学校入学式	南富良野高等学校
平成２年４月９日	千里大学始業式	保健福祉センター
平成２年４月17日	上川管内臨時教育長会議	旭川市
令和２年４月30日	上川管内臨時教育長会議	旭川市
令和２年６月23日	学校経営指導訪問	南富良野小学校 南富良野中学校
令和２年６月24日	学校経営指導訪問	南富良野西小学校
令和２年７月３日	自治会代表者会議	保健福祉センター
令和２年７月７日	上川管内教育長会議	旭川市
令和２年７月９日	北海道公民館協会研修会	札幌市
令和２年７月16日	教育委員学校訪問	町内各学校
令和２年７月22日	第６地区教科書採択委員会	東神楽町
令和２年７月23日	公立高等学校配置計画地域別検討協議会	旭川市

３ 教育長及び教育委員の主な活動状況

区　分	行　事　名　等	場　所
令和２年７月 28～30 日・８月 3～5 日	青少年体験事業	空知川　他
令和２年７月 29 日～30 日	子ども朝活事業	町民体育館
令和２年８月 25 日	富良野沿線教育長会議	富良野市
令和２年７月 29 日～30 日	子ども朝活事業	町民体育館
令和２年８月 31 日	１日防災学校	南富良野小学校 南富良野中学校
令和２年９月７日	学校経営指導訪問	南富良野高等学校
令和２年９月 25 日	小中高連携推進協議会	南富良野中学校
令和２年 10 月１日	富良野広域連合教育委員会	富良野市
令和２年 10 月 15 日	上川教育局指導監訪問	南富良野中学校
令和２年 10 月 16 日	上川教育局指導監訪問	南富良野西小学校
令和２年 10 月 17 日	南富良野小学校学芸会	南富良野小学校
令和２年 10 月 31 日	南富良野西小学校学芸会	南富良野西小学校
令和２年 11 月３日	南富良野町表彰式	保健福祉センター
令和２年 11 月 17 日	南富良野高等学校プロジェクト会議	南富良野高等学校
令和２年 11 月 27 日	富良野広域連合総合教育会議	富良野市
令和２年 11 月 29 日	ジュニアカーリング選手権大会	空知川ｽﾎﾟｰﾂﾘﾝｸｽ

３ 教育長及び教育委員の主な活動状況

区　分	行　事　名　等	場　所
令和２年12月23日	教育支援委員会	役場大会議室
令和３年１月 7～8日	子ども朝活事業	町民体育館
令和３年１月10日	成人式	保健福祉センター
令和３年１月25日	社会科副読本編集委員会	役場中会議室
令和３年３月１日	南富良野高等学校卒業式	南富良野高等学校
令和３年３月12日	南富良野中学校卒業式	南富良野中学校
令和３年３月19日	南富良野小学校卒業式	南富良野小学校
令和３年３月19日	南富良野西小学校卒業式	南富良野西小学校
令和３年３月25日	上川管内教育長会議	旭川市

教育委員会には、地域全体の教育、学術、文化、スポーツの振興を図るという社会的な使命があり、総合的な視点に立って活動していく必要があります。

令和２年度は、全国的な新型コロナウイルス感染症の蔓延により、北海道が国の緊急事態宣言の対象地域に指定されるなど、感染予防と安全確保から会議等の開催は最小限とし、書面会議などにより情報の共有や新しい生活様式を推進する中で、どの様に機能を維持していくか模索する１年でとなった。

教育委員は、会議における審議以外に教育現場を訪問することや、各種行事や研修会等に参加することで、教育現場の状況の把握及び教育委員としての能力向上に努めていくことが必要であり、感染予防対策やまん延状況の把握をする中で、今後も教育現場の訪問や研修会等に積極的に参加し、教育に関する課題の把握に努め教育委員会に期待される役割、機能を十分果たしていくよう活動して参ります。

４ 児童生徒の活動状況（部活動等）

令和２年度における児童生徒の部活動等における活動状況は、次のとおりです。

（１）少年団活動

クラブ名等	所属人数	活動状況
野球 スポーツ少年団	２０人	○全道少年軟式野球富良野支部大会 ○太陽グループ杯争奪全道少年野球選抜富良野大会 ○富良野沿線少年野球リーグ戦 ○Ｋスポーツ杯少年野球大会 ○富良野沿線少年野球新人戦
バレーボール スポーツ少年団	１２人	○富士スポーツ杯小学生バレーボール大会 ○道新カップバレーボール大会富良野地区予選会 ○体育の日記念富良野地区小学生バレーボール大会 ○富良野市スポーツ少年団本部小学生バレーボール大会 ○Ｋスポーツ杯富良野地区小学生バレーボール大会
カーリング スポーツ少年団	２１人	○ゆっくみなみふらのカップカーリング大会 ○北海道新聞社杯南富良野ジュニアカーリング大会 ○おさだグループ杯U―１２カーリング大会 2021 ○道央ブロックジュニアカーリング選手権大会
スキー スポーツ少年団	１６人	○三笠ＳＬ・ＧＳ ○和寒ＧＳ ○木村杯 ○テイネＳＬ ○連盟会長杯兼セルジュラング杯 ○朝里ＳＬ・ＧＳ ○テイネＧＳ

（２）南富良野中学校部活動

クラブ名等	所属人数	活動状況
野球部	６人	○富良野連盟会長杯少年野球大会 ○富良野交流戦（※中体連代替） ○ロータリークラブ杯中学野球大会 ○全日本少年春季軟式野球富良野支部予選 ○道北地区中学軟式野球大会 ○富良野沿線中学軟式野球新人戦
卓球部	１１人	○道新杯争奪卓球大会 ○上川南部地区中学校卓球交流会（※中体連代替）

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

		○富良野地区中学校新人卓球交流戦 ○沿線中学新人戦兼 VICTAS 杯卓球大会
ソフトテニス部	１５人	○富良野カップ（※中体連代替） ○富良野沿線中学生ソフトテニス新人戦 ○富良野沿線中学生インドアソフトテニス大会 ○中学校指導者協議会杯中学生インドアソフトテニス大会
バ レ ー 部	１人	○親睦交流会（※中体連代替） ○富良野地区中学校新人戦バレーボール大会 ○富良野地区選抜バレーボール大会 ○富士スポーツ杯中学生親睦バレーボール大会
吹 奏 楽 部	５人	○校内ミニコンサート
陸上部（季節部）	１人	○Ｕ－１５チャレンジ陸上
スキー部（季節部）	２人	○ぬかびら源泉郷ユース大会

（３）南富良野高等学校部活動

クラブ名等	所属人数	活動状況
バトミントン部	９人	○旭川地区高校バドミントン大会
卓球部	４人	○新人戦予選
カヌー部	２人	○道カヌースプリント短距離選手権大会 ○北海道ジュニアカヌースプリント短距離選手権大会
スキー部（季節部）	１人	○大会出場なし
カーリング部	１０人	○道央ブロックジュニア大会 ○南富良野ジュニア大会 ○南富良野クラブチャンピオンシップ
吹奏楽部	９人	○定期演奏会

４ 児童生徒の活動状況（部活動等）

資格取得部	１１人	○日本語ワープロ検定 ○全経簿記能力検定 ○情報処理技能検定 ○プレゼンテーション作成検定 ○硬筆書写技能検定 ○実用英語検定 ○漢字能力検定 ○語彙・読解力検定 ○数学技能検定

（４）部活動等の活動状況について

教育委員会としては、児童生徒の体力の向上及び運動能力の増進並びに文化活動の助長を図ることを目的として少年団活動に対する補助金の交付や中学校及び高等学校における部活動に対する財政的支援を行っております。

今後も、児童生徒が健康で明るく活気に満ちた生活を送ることのできる環境づくりに取り組んでいく必要があると考えており、引き続き体育・文化活動に対する支援を行って参ります。

5 教育行政執行方針の概要

令和２年度の南富良野町教育行政執行方針では、分野ごとの基本目標を示しています。

●基本理念

○学校教育

・変化の激しいこれからの社会を生きるためには、たくましく「生きる力」を育成するという理念のもと、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）の調和のとれた子どもの育成を図るため、家庭や地域との連携を深めながら、豊かな学びを創り出す教育活動の推進

○生涯学習

・本町に住む人たちが心豊かに健やかに生きがいを実感できるよう、各世代に応じた生涯学習と活躍できる機会の創出

（１）学校教育関係

①確かな学力を育む教育の推進

１）学力向上に向けた取組

・家庭学習の習慣化、一人学習ノートの取組み

・個別指導学習による子に応じた指導の充実

・メディア等に触れる時間のルールづくりの促進

・ICT 機器の活用や土曜授業の継続

・習熟度別学習などのきめ細かな指導

・小中高連携の取組推進

２）教師力の向上

・授業力向上に向けた講習会の開催

・道内モデル校への視察研修

・指導力向上のための研鑽

３）中学生を対象とした、英語・数学・漢字検定に対する支援

４）複式学級におけるきめ細かな指導

５）各学校での工夫された読書活動の展開

６）国のＧＩＧＡスクール構想の推進

・小中学生１人１台の端末機の配置

・各学校の高速大容量ネットワーク環境の整備

・教員のＩＣＴ活用能力の向上に向けた研修の機会の確保

②豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

１）心を育むふるさと教育の推進

２）体力づくりの充実

３）ネットモラルの指導徹底

４）スクールカウンセラーによる支援の継続

５）いじめ根絶に向けた取組

③信頼される学校づくりの推進

１）地域とともにある学校づくり

２）避難訓練などの計画的な実施

３）交通安全や防犯意識の向上

４）「１日防災学校」の実施

５）安全で安心な給食の提供

６）新型コロナウイルス感染症感染予防の強化

（２）南富良野高等学校

１）進路に応じた教育活動を実践

２）地域の特色を生かした学校づくり

３）補助や助成などの継続

４）部活動における中高連携事業の充実

５）学校運営協議会の設置

（３）生涯学習・社会教育

１）少年教育

・体験活動の場を提供

・小中学生を対象とした芸術鑑賞の機会の提供

２）青年教育

・活動機会の提供

３）成年教育

・婦人団体と連携した取組と活動支援

・千里大学

４）芸術文化活動

・主体的な文化活動の支援

・芸術文化に触れる機会を提供

・本にふれあう機会の充実

５）公民館

・自治会活動としての事業の推進

６）文化財

・町の歴史的建造物や文化遺産などを知る機会を提供

・「イトウ」による環境学習

７）家庭教育

・子ども朝活事業

・生活習慣を考える機会の提供

８）体育・スポーツの振興

・関係団体との協働
・アスリート補助金
・スポーツ少年団

6 教育行政執行方針に基づく点検･評価対象事務事業一覧

令和２年度の南富良野町教育行政執行方針で示された分野ごとの事業目標に基づき実施した次の事務・事業を点検・評価の対象としています。

番号	事業区分	事　業　名・事 業 目 標
1	学校教育	**確かな学力**
1-1	学校教育	学力向上に向けた取組
①	学校教育	*家庭学習の習慣化・一人学習のノートの取組み*
②	学校教育	*個別補充学習による子に応じた指導の充実*
③	学校教育	*メディア等に触れる時間のルールづくりの推進*
④	学校教育	*ICT 機器の活用や土曜授業の継続*
⑤	学校教育	*習熟度別学習などのきめ細かな指導*
⑥	学校教育	*小中高連携の取組を推進*
1-2	学校教育	教師力向上
①	学校教育	*授業力向上に向けた講習会の開催*
②	学校教育	*道内モデル校への視察研修*
③	学校教育	*指導力向上のための研鑽*
1-3	学校教育	中学生への英語・数学・漢字検定に対する支援
1-4	学校教育	複式学級におけるきめ細かな指導
1-5	学校教育	工夫された読書活動
1-6	学校教育	国の「ＧＩＧＡスクール構想」の推進
①	学校教育	*小中学生１人１台の端末機の配置*
②	学校教育	*各学校の高速大容量ネットワーク環境の整備*
③	学校教育	*教員のＩＣＴ活用能力の向上に向けた研修機会の確保*
2	学校教育	**豊かな心と健やかな体**
2-1	学校教育	心を育むふるさと教育の推進
2-2	学校教育	体力づくりの充実
2-3	学校教育	ネットモラルの指導徹底
2-4	学校教育	スクールカウンセラーによる支援継続
2-5	学校教育	いじめ根絶に向けた取組
3	学校教育	**信頼される学校**
3-1	学校教育	地域とともにある学校づくり
3-2	学校教育	避難訓練などの計画的な実施

6 教育行政執行方針に基づく点検･評価対象事務事業一覧

番号	事業区分	事　業　名・事 業 目 標
3-3	学校教育	交通安全や防犯意識の向上
3-4	学校教育	北海道と連携した「1 日防災学校」の実施
3-5	学校教育	安全で安心な給食の提供
3-6	学校教育	新型コロナウイルス感染症感染予防対策の強化
4	高等学校	**高等教育**
4-1	高等学校	進路に応じた教育活動の実施
4-2	高等学校	地域の特色を活かした学校づくり
4-3	高等学校	補助や助成などの継続
4-4	高等学校	部活動における中高連携事業の充実
4-5	高等学校	学校運営協議会の設置
5	生涯学習	**少年教育**
5-1	生涯学習	体験活動の場の提供
5-2	生涯学習	小中学生の芸術鑑賞機会の提供
6	生涯学習	**青年教育**
6-1	生涯学習	活動機会の提供
7	生涯学習	**成年教育**
7-1	生涯学習	婦人団体と連携した取組と活動支援
7-2	生涯学習	千里大学
8	生涯学習	**芸術文化**
8-1	生涯学習	主体的な文化活動の支援
8-2	生涯学習	芸術文化に触れる機会の提供
8-3	生涯学習	本にふれあう機会の充実
9	生涯学習	**公民館**
9-1	生涯学習	自治体活動としての事業の推進
10	生涯学習	**文化財**
10-1	生涯学習	町の歴史的建造物や文化遺産を知る機会の提供
10-2	生涯学習	イトウによる環境学習
11	生涯学習	**家庭教育**
11-1	生涯学習	子ども朝活事業
11-2	生涯学習	生活習慣を考える機会の提供
12	生涯学習	**体育スポーツ振興**

12-1	生涯学習	関係団体との協働
12-2	生涯学習	アスリート補助金
12-3	生涯学習	スポーツ少年団

7 教育行政執行方針に基づく事務･事業等の点検･評価の方法

教育行政執行方針に位置付けられて実施した主な 45 の事務・事業等について、事務事業点検評価シートにより「事業名」、「事業目標」の「事務事業実施状況」、「事務事業評価」により課題等を明らかにし、「達成度・効果度・総合」の評価を行います。その後、評価委員の意見を聴取し、「今後の方向性及びその方策等」をまとめ、今後の方向性を見出します。

（１）評価基準

①達成度評価基準

区　分	A	B	C	D
評価内容	実践が進み成果を上げている	実践が進んでいる	実践に努めている	努力を要する

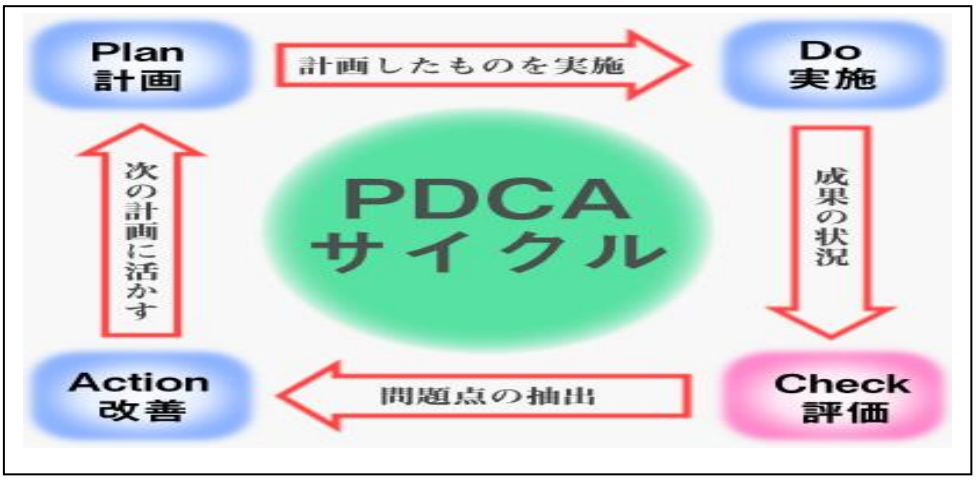
②効果度評価基準

区　分	A	B	C	D
評価内容	期待どおりの効果が得られた	効果度が比較的高い	効果度が比較的低い	ほとんど（全く）効果が得られない

③総合評価基準

区　分	A	B	C	D
評価内容	高い成果を上げている	成果を上げている	実践に努めている	努力を要する

④事業改善に向けた方法



事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1－1－①	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	学力向上に向けた取組（家庭学習の習慣化・一人学習ノートの取組み）				

2　事業実施状況

家庭学習時間の目標を「10分×学年＋10分」と設定し、一人学習ノートを活用しながら学習習慣の定着を図った。

3　事務事業の評価

全ての学校で8割程度達成しているが、引き続き家庭学習を定着させる必要がある。 「定着率＝南小85%・西小76%・南中82%」	評価委員の意見	家庭の協力が不可欠であるため、保護者に趣旨を理解させながら進めていく必要がある。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

定着させるために継続して取り組むものとする。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1－1－②	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	学力向上に向けた取組（個別補充学習による子に応じた指導の充実）				

2　事業実施状況

加配教諭の配置及び学習支援員も活用し、始業前及び放課後等に個別の補充学習を実施し、基礎基本の確実な定着を図った。

3　事務事業の評価

学習意欲の向上につながっているとともに、子に応じた指導の充実が図られた。	評価委員の意見	学校と家庭との連携を図りながら、継続して取り組んで欲しい。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

個別補充学習による学習意欲の向上、基礎基本の定着を図るため継続した取組みを実施する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1－1－③	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	学力向上に向けた取組（メディアに触れる時間のルールづくりの推進）				

2　事業実施状況

アンケート等において、本町児童生徒はメディアに触れる時間が多い結果となっていることから、本年度においても本町では1日2時間以内やノーゲームデイを推奨し、家庭学習課題を出すほか、学級通信や参観日等における家庭への協力をお願いしている。

3　事務事業の評価

意識付けや家庭の協力等により触れる時間の減少傾向は見られる。	評価委員の意見	学校と家庭との連携を図りながら、継続して取り組んで欲しい。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

家庭との連携協力が重要であり、全体に浸透するには時間を要するため今後も継続した取組みが必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1－1－④	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	学力向上に向けた取組（ICT機器の活用や土曜授業の継続）				

2　事業実施状況

パソコンについては、各学年が各教科の内容に応じ、また、特別活動において積極的に活用し、効率的な学習や活動に結び付け利用を図ることが出来た。土曜授業は、小学校では10回、中学校では5回予定し、4月下旬から5月末まで新型コロナウィルスによる臨時休校期間を除き、特別授業のみではなく通常授業についても実施した。

3　事務事業の評価

パソコンの活用はICT教育に不可欠であり効率的かつ効果的な指導に繋がっている。土曜授業については、授業時間の確保等有効である。地域や保護者にも理解されている。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

国のICTを活用した学習の推進は今後更に重要となり、効率的な学習体制の構築が求められる状況であり、指導する側である教員のスキルアップが求められるため、研修等を実施するとともに、新型コロナウィルス等による臨時休校時に対応できる、オンライン授業の確立が必要である。 土曜授業は学力向上を図る手段として、また、地域の環境や地域とのつながりを生かした学習の充実を推進するためには、必要であり今後も継続して実施するが、授業内容等についてより効果のあるものとするよう検証しながら進めていく必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1－1－⑤	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	学力向上に向けた取組（習熟度別学習などのきめ細かな指導）				

2　事業実施状況

TT指導や少人数指導など、授業形態の工夫を図り、一人一人の能力・適性に応じた個性を生かす活動に努め、確かな学力づくりを図った。

3　事務事業の評価

学習意欲の向上につながっているとともに、確かな学力づくりが図られた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

個性を生かした活動の実施により学習意欲の向上、基礎基本の定着を図るため継続した取組みを実施する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1－1－⑥	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	学力向上に向けた取組（小中高連携の取組を推進）				

2　事業実施状況

小中高連携教育推進基本計画に基づき、取組の推進を図った。
英語教育の乗り入れ授業の実施や学力向上モデルの統一授業力向上に向けた講習会の小中高統一講師を派遣を検討した。

3　事務事業の評価

小中高全体で取り組んでおり、高校から中学校、中学校から小学校への乗り入れ授業など連携体制の推進が図られている。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

令和3年度も継続して取り組みを強化するとともに、英語授業のように新たな連携内容についても模索していく必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1-2－①	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	教師力向上（授業力向上に向けた講習会の開催）				

2　事業実施状況

町教育研究会及び小中高連携協議会にて学力向上講習（講師：西留康夫氏）を招聘する予定であったが、新型コロナウイルス感染症により訪問を断念し、録画した授業風景を送付して助言・意見を受けた。

3　事務事業の評価

教職員で全体化できたことや、継続した指導を受けることができたことは良かった。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	A	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

新型コロナウイルス感染症の収束状況を踏まえ、可能な限り引き続き西留先生を招聘し、実践し検証することで、教師力向上につなげることが必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1-2－②	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	教師力向上（道内モデル校への視察研修）				

2　事業実施状況

町教育研究会と連携し先進校などの視察を予定したが、コロナ禍において実施することが出来ず、優良事業の情報の収集に留まった。

3　事務事業の評価

コロナ禍において乗り入れた研修は実施できず教育関係情報誌等の活用にとどまり、全体化のものには結び付けることが出来なかった。	評価委員の意見	様々な状況に応じ、可能な研修の継続を望む。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

他の地域での優れた取組を吸収することは、教師力向上の活性化にもつながり重要であるが、コロナ禍において視察に限定することなく、新たな研修方法も模索しながら研修等を通じ、教師力の向上に繋げる必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1－2－③	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	教師力向上（指導力向上のための研鑽）				

2　事業実施状況

北海道教育委員会・上川教育局等が主催する各種研修会への参加を促すとともに、教育研究会及びへき地複式教育連盟等における研究大会を実施

3　事務事業の評価

新型コロナウイルス感染症の影響により一部オンラインでの実施となったが、各種研修会を通じ、指導力向上に向けた研鑽を積むことができた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

今後も継続して、指導力向上に向け実践・検証を行いながら取組むことが必要。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	中学生への英語・数学・漢字検定に対する支援				

2　事業実施状況

学習意欲の構造を図ることを目的に「英語・数学・漢字検定」試験の費用負担を行った。各教科各級2回不合格でなければ受検できるよう、子どもたちの可能性及び学びの自主性を図った。
また、本町の小中高連携の一環として、南富良野高等学校より中学校に講師を派遣し、英語検定を受験する生徒に指導を行った。

3　事務事業の評価

中学生の積極的な検定受験が行われ、学習意欲の向上が図られた。	評価委員の意見	今後も継続した継続を望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

積極的な受検により学習意欲の向上があるので、継続した実施が必要。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1-4	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	複式学級におけるきめ細かな指導				

2　事業実施状況

南富良野西小学校は複式学級のみであり、1教室内に2つの黒板を設置、教員の指導力の向上を図りながら、各学年に応じた授業内容を実施している。又、南富良野小学校は令和元年度より複式学級が設置されたので、移動式黒板の設置、加配教諭による各学年ごとの授業等、教科等によりきめ細かな対応を行った。

3　事務事業の評価

各学年に沿った、きめ細かな学習を実施することができた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

複式学級においても、教員の指導力を図りながら各学年に沿った学習の提供を継続して実施する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1-5	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	工夫された読書活動の展開				

2　事業実施状況

朝読書や長期休業中の貸出、校内読書月間を活用し習慣化を促した。又、地域人材を活用した読み聞かせ会等を通して読書活動を推進した。
読書週間の効果を学校だより・学級通信・授業等で児童生徒、家庭、地域へ啓蒙した。

3　事務事業の評価

各学校における読書推進活動により、読書週間の定着が図られた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

継続的な読書活動により、思考力・判断力・表現力等の向上、更には語彙力の増加で、コミュニケーション力の向上を図ることができるため、継続して実施する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1-6-①	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	国の「GIGAスクール構想」の推進（小中学生1人1台の端末機の配置）				

2　事業実施状況

GIGAスクール構想の実現のため、文部科学省の補助事業を活用し、小・中学生1人1台端末の整備を行った。

3　事務事業の評価

令和3年度以降においてICTを有効活用することが可能となる。	評価委員の意見	ICTを活用した授業の実施を期待する。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

ICTを有効活用するため、教職員の研修の充実及び周辺機器の整備を継続して実施する。	方向性
	完了

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1-6-②	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	国の「GIGAスクール構想」の推進（各学校の高速大容量ネットワーク環境の整備）				

2　事業実施状況

GIGAスクール構想の実現のため、文部科学省の補助事業を活用し、校内ネットワークを改修した。

3　事務事業の評価

学校内の1人1台端末が同時に接続しても使用出来る環境が整った。	評価委員の意見	1人1台端末を有効に活用出来ることを期待する。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

次年度以降において、校内で1人1台児童生徒個々の専用端末として利用することが出来るため、前授業の振り返りを含め、効率的な学習を行うことが出来る。	方向性
	完了

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	1-6-③	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事 業 名 （ 目 標 ）	国の「GIGAスクール構想」の推進（教員のICT活用能力の向上に向けた研修機会の確保）				

2　事業実施状況

北海道教育委員会・上川教育局等が主催する各種研修会への参加を促すとともに、教育研究会及びへき地複式教育連盟等において研修を実施した。

3　事務事業の評価

各種研修会を通じ、指導力向上に向けた研鑽を積むことができた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	A	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

今後も継続して、指導力向上に向け実践・検証を行いながら取組むことが必要。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	2-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事 業 名 （ 目 標 ）	心を育むふるさと教育の推進				

2　事業実施状況

南富良野町の産業（1次・2次・3次）について学習するため、生徒がワークショップや職場体験を実施。
また、児童生徒がラフティングなどのアウトドアの体験を実施した。

3　事務事業の評価

新型コロナウイルス感染症の影響により一部受入が拒否されたが、町内の産業について体験・理解することができた。また、アウトドアについても体験できた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

引き続き町内事業所の協力のもとワークショップや職場体験を実施する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	2-2	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事 業 名 （ 目 標 ）	体力づくりの充実				

2　事業実施状況

例年、文部科学省が実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」に取り組み、その結果を踏まえ課題に合わせた取組を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国でも取り組みは見送られたため、一昨年のデータと比較して体力テストを実施し、体力向上に努めた。

3　事務事業の評価

昨年度は全国平均を上回る結果となった種目が多かったが、持久力等一部下回った種目もあることから、引き続き継続した体力づくりの取組みが必要。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

個々の能力等を把握しながら、苦手な種目の継続的な取組みや、日常的な運動の取入れによる体力の向上を進める必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	2-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事 業 名 （ 目 標 ）	ネットモラルの指導徹底				

2　事業実施状況

SNSやインターネットを利用したゲームの普及により、便利さや楽しさの反面、被害に遭う危険性などリスクの存在などメディアに触れる時間づくりの推進と併せ取り組みを行う。

3　事務事業の評価

メディアの活用に関する取り組みは家庭と連携を図りながら推進することが重要であるが、家庭への発信により共通認識を強化することはできた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

PTAなど教育関係団体と連携した専門的な研修会の設定など継続した取組みを実施するとともに、各家庭での協力体制の確立に向けた取組みが必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	2-4	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事 業 名 （ 目 標 ）	スクールカウンセラーによる支援継続				

2　事業実施状況

南富良野中学校を拠点校として、北海道より派遣され実施しており、不登校生徒及び保護者の相談を行った。
また、各小学校についても派遣校として相談を行った。

3　事務事業の評価

不登校及び不登校気味の生徒や親もスクールカウンセラーとの面談はできており、登校に向け改善が見られた。	評価委員の意見	デリケートな問題であり、各学校と連携しながら、適切な時期に派遣できるよう進めていただきたい。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

中学校では不登校生徒がいる限り継続して相談対応を確立する必要がある。また、小学校においても相談したい状況があることから、派遣を継続する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	2-5	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事 業 名 （ 目 標 ）	いじめ根絶に向けた取組				

2　事業実施状況

道が実施している「いじめに関する調査」による実態の把握を行うとともに、各学校でもアンケート等を実施している。
情報の共有を図ることによる未然防止に向けて取り組んでいる。

3　事務事業の評価

調査やアンケートでは、各学校でのいじめの発生はなかった。校長会や教頭会と連携し情報の共有を図りながらいじめ根絶に取り組んできている。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

調査やアンケートを継続して実施するとともに、他市町村の事例として表面化しにくく要因も複雑化する傾向がある報告などもあることから、広く情報を把握し早期に対応できるよう継続した取り組みが求められている。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	3-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事 業 名 （ 目 標 ）	地域とともにある学校づくり				

2　事業実施状況

小中学校全てにコミュニティスクール（学校運営協議会）を導入し、地域の方や保護者への学校経営方針の承認を始め、定期的な会議を開催し、地域の学校として現状の説明や委員から意見の聴取を図り、学校内行事への協力及び地域との連携に努めた。

3　事務事業の評価

地域、保護者、学校が一体となり学校運営を行うことができ、いろんな意見と取り入れ新しい取組みが少しずつ実施できた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

引き続き、「地域とともにある学校づくり」を目指し取り組む必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	3-2	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事 業 名 （ 目 標 ）	避難訓練などの計画的な実施				

2　事業実施状況

各学校において、関係機関の協力を得て複数回実施し、避難時における経路や火災・地震等の災害時における対応について訓練した。
意識高揚や基本的行動の定着を図った。

3　事務事業の評価

防災意識の高揚や基本的行動について定着している。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

今後の生活の中で継続した意識が必要であるため、継続して取組むことにより生きる力の醸成が図られる。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	3-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事 業 名 （ 目 標 ）	交通安全や防犯意識の向上				

2　事業実施状況

各学校では、学校運営協議会との連携による、登校時の見守りや交通安全指導を実施、警察等との連携による防犯や交通安全の講話等を実施するとともに、町交通安全及び防犯協会で実施している「標語・ポスター・作文」の作品に応募し、意識向上に努めた。

3　事務事業の評価

交通安全及び防犯に対する意識高揚が図られた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

子どもたちの安全性の確保につながることから、継続した取組みが必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	3-4	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事 業 名 （ 目 標 ）	「1日防災学校」の実施				

2　事業実施状況

町防災安全推進室と連携し、各小中学校全体で「1日防災学校」を実施した。
・南富良野小学校　　8月31日（防災マネージャーの講話）・9月28日（防災マネージャーの講話）・11月9日（防災マネージャーの講話）
・南富良野西小学校　8月31日（避難所の必要性を考える）・9月7日（防災マネージャーの講話）
・南富良野中学校　　8月31日（防災マネージャーの講話・避難所運営の体験等）

3　事務事業の評価

防災意識の高揚が図られたとともに、災害時の対応など知識の向上が図られた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

町が体験した平成28年8月31日の災害を風化させることなく、後世に伝えるためにも、継続した取組みを行い、災害時等における自己防衛等、生きる力の醸成が必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	3-5	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事 業 名 （ 目 標 ）	安全で安心な給食の提供				

2　事業実施状況

食中毒の防止、従事者の衛生管理の徹底、アレルギーの把握と対応に努め、安全で安心な給食の提供を行った。地場産品の食材を積極的に取り入れるともに、栄養教諭による食育指導等の充実を図った。

3　事務事業の評価

食中毒の発生、従事者の伝染病等の発生なく、安全な給食の提供ができた。 地場産品の食材の取入れ、食育指導等については栄養教諭の学校への訪問や毎月発行する「給食だより」等も活用し取り組んだ。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

引き続き安全で安心な給食の提供を行うとともに、食事は、身体の発育のみならず、学びをはじめ様々な場面での基本要素が強うことから、栄養教諭による食育指導の充実を図る必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	3-6	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事 業 名 （ 目 標 ）	新型コロナウイルス感染症感染予防対策の強化				

2　事業実施状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、町内小中学校が4月20日～5月31日が臨時休業となった。

再開後は文科省の管理衛生ガイドラインや道教委の感染対策の指針などに基づき、児童生徒・教職員の健康管理やマスクの着用や手洗いの励行等のほか、学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策等の学校教育活動継続支援事業）を活用し、感染症対策の徹底を行った。

3　事務事業の評価

町内小中学校の児童生徒及び教職員に陽性者が発生せず、町単独として学びを止めることなく学校・児童生徒を守ることができた。	評価委員の意見	今後も対策の徹底を望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

コロナ禍においては、地域の感染状況や国や北海道の感染予防方針等に準じ、継続した感染予防対策を徹底し、児童・生徒の安全を第一とし、学びが止まらないよう学校と連携を密にし、感染予防に努めていく必要がある。また、感染対策に係る補助金等も活用し、迅速な対応に努める必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	4-1	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	進路に応じた教育活動の実践				

2　事業実施状況

一人ひとりの進路に応じた教育活動を実施するため、数学・英語の授業では類型別・習熟度授業を実施するとともに、大学進学希望者については、eラーニングによる授業外学習を実施した。
併せて、介護職員初任者研修をはじめとした各種資格取得検定料や公務員模試受験料の助成、大学進学希望者に対しては大学模試受験料の助成を行った。

3　事務事業の評価

類型別授業により生徒の進路目標に対応した効果的な学習、eラーニングによる授業外学習の定着、各種検定料・模試受験料等の助成により、学力向上と進学意欲の高揚に繋がった。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

類型別のほか習熟度にあった指導を強化するとともに、引き続き生徒一人に1台のタブレットの配置、eラーニングによる授業外学習の実施により、学習意欲の向上や苦手科目の克服を図り、進路実現に向けた取り組みを進める。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	4-2	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	地域の特色を活かした学校づくり				

2　事業実施状況

恵まれた自然環境を生かしたカヌー授業やラフティング授業をはじめ、イトウの保護を通した環境学習を実施した。一方、例年実施していた町内の福祉施設や高齢者宅へのボランティア活動については、コロナ禍により実施できなかった
また、道内公立高校で唯一の「カヌー部」や「カーリング部」については、コロナ禍により全道・全国大会が中止となったが、地域の大会などにおいて貴重な体験と交流を深めている。

3　事務事業の評価

身近な環境を通し学習することで、郷土愛を育み、特色ある学校づくりに繋がっている。 また、部活動では、各種大会出場を通し、大学進学等に繋がっている。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

地域の人材や自然、産業など本町特有の教育資源を活用した学習活動を教育課程に位置付けし、より一層地域の特色を活かした学校づくりを図っていく。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	4-3	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	補助や助成などの継続				

2　事業実施状況

生徒数の確保や保護者負担の軽減を図るため、町外から通学する生徒に対する通学費補助や在学中に使用する教科書購入費の全額補助、また南富良野中学校から入学する生徒に対して制服購入費の補助を行ってきた。

3　事務事業の評価

継続して実施してきている中で、生徒確保に繋がっているが、生徒数の減少に伴い、生徒確保が難しくなってきている。	評価委員の意見	補助や助成などは保護者にとっては魅力でありますが、高校を選ぶ時の子どもたちに対して伝わる魅力があるとよい。				
	達成度	A	効果度	B	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

今後、生徒数が減少する傾向にあるが、南富良野高校を選択してもらえる魅力づくりのため、引き続き補助及び助成の継続と充実により、保護者負担の軽減と生徒数確保を図っていく。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	4-4	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	部活動における中高連携事業の充実				

2　事業実施状況

地元中学校からの志願者増に結び付くよう部活動における中高連携を図ってきた。
吹奏楽部については、合同練習を行うとともに、定期演奏会に中学校生徒にも参加してもらい合同演奏を行った。
卓球部については、コロナウィルス感染症拡大の影響もあり、実施できなかった。

3　事務事業の評価

日程調整等難しい面があるが、合同練習等により、中高部活動の交流を深めることができた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	C	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

部活の中高連携については、地元中学校からの志願者増となるよう、引き続き中学校と連携を図りながら、更なる連携が図られるよう取り組む。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	4-5	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	学校運営協議会の設置				

2　事業実施状況

令和2年7月に学校運営協議会（コミュニティスクール）を設置し、経営方針の承認をはじめ、南富良野高等学校の課題や方策等について定期的な会議を開催した。

3　事務事業の評価

地域、保護者、学校が一体となり、学校運営について、さまざまな意見を交わすことができた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

引き続き「地域とともにある学校づくり」、また「魅力ある高校づくり」に向け取り組む。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	5-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	少年教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	体験活動の場の提供（自然体験活動、少年の主張）				

2　事業実施状況

参加希望者を募り、自然体験活動（川遊び・釣り等）を全6回実施しました。自然の中で遊びながら生き物を観察し、利用することで、楽しさや自然の存在価値に気付くとともに、その中に潜む危険察知能力向上、不整地を歩くことにより体の使い方やバランス感覚向上に繋がりました。また、これらの体験の蓄積により個々の自然環境の存在価値を高め、環境保全に繋がるとともに、限られた資源を効率よく活用するノウハウに触れたことで有事の際の減災に寄与することが期待されました。
また、発表機会の提供として、従来より取り組んでいる少年の主張上川地区大会につきましては、新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。

3　事務事業の評価

各家庭や地域において、体験活動等の機会が減少している子ども達に、本町の豊かな自然環境に触れながら、様々な体験をする場の提供として成果が出ています。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

子どもの頃の体験活動は、多くの人と関わりながら体験を積み重ねることにより、社会を生き抜く力として必要となる基礎的な能力を養う効果があり、特に自然体験や地域活動等の体験が豊富なほど、大人になってからの人間関係能力や意欲・関心といった資質・能力が高くなる傾向にありますので、子どもたちの未来を育むために継続して実施していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	5-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	少年教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	小中学生の芸術鑑賞機会の提供				

2　事業実施状況

舞台芸術公演として、株式会社影向舎による「学校寄席～落語と色物～」を実施しました。

3　事務事業の評価

伝統芸能に触れることで、豊かな感性や個性を育むともに、芸術文化を理解し大切にする心を養うことができました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

芸術鑑賞は、豊かな感性や個性を育むともに、芸術文化を理解し大切にする心を養うことができることから、今後も継続して舞台芸術等を鑑賞する機会を設けていきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	6-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	青年教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	活動機会の提供				

2　事業実施状況

次代のまちづくりを担う世代が、自らの知識とスキルの向上を図り、職域を越えた青年同士のネットワーク形成のきっかけづくりの場として、What's up? Minamifuranoに取り組んでいます。
令和元年度より、町内事業所等の協力のもと、代表者による企画委員会において企画・運営を行っています。
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、オンラインによる交流活動を行いました。

3　事務事業の評価

新型コロナウイルス感染症のため、従来の集まって取り組む事業が難しい状況にあることから、オンラインを活用した取り組みを通して、新しい形の事業に取り組むことができました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	A	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

若者が参加しやすいツールを活用したオンライン交流や幅広い職域を越えた交流促進が図られるようなイベント等を検討しながら、引き続きネットワーク形成の場を提供するとともに、各地域団体と連携し、社会教育事業の推進と自主的な活動支援に努めながら事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	7-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	成年教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	婦人団体と連携した活動支援				

2　事業実施状況

南富良野町婦人団体連絡協議会研修会において、町内の史跡を数か所めぐり、町の歴史に触れることができました。現地の説明を教育委員会で行っています。
また、補助金を交付し団体の活動を支援しています。
例年実施しております「冬の北海道（南富良野町）体験の翼」の歓迎会及びスキー交流時の食事づくりへの協力等は新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。

3　事務事業の評価

コロナ禍における婦連協の町内研修と教育委員会の史跡めぐりを連携して行うことができ、町の文化財に触れる機会を作ることができました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

引き続き連携した活動を行うことで、地域のマンパワーを活用し、社会教育事業の円滑な推進を図ります。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	7-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	成年教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	千里大学				

2　事業実施状況

高齢期における地域の仲間づくり、自己の特性・経験を活かし、生きがいや楽しみを求めて学習する場として、学習内容の充実や自主活動の推進に努めながら、学習計画に基づき授業展開を実施しました。（学生数31名）
千里大学は、令和2年度で開校30周年を迎えたことから、千里大学30周年記念講演として、講師に菅井貴子氏を招き「気象予報士による異常気象のメカニズムと防災」について講演いただきました。
また、令和2年度は3つのクラブにより活動し、クラブの仲間同士で交流の輪を広げながら、趣味や雑学等を楽しみました。

3　事務事業の評価

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら授業を開催することで、高齢者の学習の場や交流機会となりました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

高齢者の持つ豊かな生活体験や経験を次世代に伝えていくことは、きわめて重要であるため、発表機会の提供や授業内容の充実を図るとともに、新入学者の確保に努めながら、生きがいや楽しみを見出す場として事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	8-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	芸術文化				
事 業 名 （ 目 標 ）	主体的な文化活動の支援				

2　事業実施状況

関係団体等に対し、各種文化活動の案内を町のホームページをはじめとし、情報の提供を行い活動の支援につながるよう努めた。また、町広報誌などにより自主企画支援事業の周知を図り、町教育委員会と連携した自主的な事業実施の促進に努めた。

3　事務事業の評価

情報の提供や自主的な活動を支援する周知はできたが、コロナ禍において、直接的な事業支援を行うことが困難であった。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	B	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

コロナ禍など様々な状況に応じたオンラインを含む多様な支援を各関係団体とも連携し、検証しながら推進していく必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	8-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	芸術文化				
事 業 名 （ 目 標 ）	芸術文化に触れる機会の提供				

2　事業実施状況

コロナ禍において、鑑賞事業を実施することが難しく、また、紹介する鑑賞事業も少なく、町内の文化団体も活動を自粛を余儀なくされ、鑑賞の機会を提供することは厳しかったが、千里大学のような限られた参加者でのピアノミニコンサートなど、感染対策を取りながら提供うことが出来た。

3　事務事業の評価

鑑賞等の文化活動に触れることで、心の豊かさや安らぎを育むことが出来き、コロナ禍において小人数での可能な鑑賞機会等の実践活動としては、今後の推進のあり方としてのキーワードを残すことが出来た。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	B	総合	B

4　今後の方向性及びその方策等

芸術鑑賞は、豊かな感性や個性を育むともに、日常生活の中で芸術文化に触れる機会を提供するさらには成果として発表する機会があることが重要であり、コロナ禍など社会の状況変化に対応しながら、継続する必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	8-3	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	芸術文化				
事 業 名 （ 目 標 ）	本に触れ合う機会の充実				

2　事業実施状況

図書館利用者からのリクエストを中心とした図書の購入や、ホームページや町広報誌による新刊図書の情報提供、巡回図書に取り組み、町民が本に触れ合う機会の充実を図りました。
夏季休業中に、北海道日本ハムファイターズが主導する「本を読んでファイターズを応援しよう！」キャンペーンを通して、小学生が本に触れ合う機会の充実を図りました。
北海道立図書館の支援事業を活用し、図書室で実施できる事業、レイアウトや書架の整理等を行いました。その活動の一つとして、放課後子ども教室のプログラムと連携し、図書室へ行きオリジナル絵本づくりを行いました。

3　事務事業の評価

新たな取り組みを始めましたが、事業が定着していないこともあり、参加者や利用が少ない状況にあります。 しかし、他団体と連携した事業を行うことで、図書室の利用促進を図ることができました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

図書室の新刊情報や実施事業の情報周知を行い、住民が本に触れ合う機会の充実を図ります。 また、他団体と連携した事業を行い、図書室の利用促進を図ります。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	9-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	公民館				
事 業 名 （ 目 標 ）	自治会活動としての事業の推進				

2　事業実施状況

公民館分館事業とまちづくり地域活性化交付金における事業は、各自治会において運営し、事業ごとに報告が必要となっていたことから、令和２年度より公民館分館事業をまちづくり地域活性化交付金に統合することで、運営主体の事務軽減を図り、より取り組みやすいものとしました。

3　事務事業の評価

各自治会の複数にわたる事務を一本化し、事務のスリム化を図ることができた。	評価委員の意見	地域の活動として行われるよう継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

地域のニーズに合わせた取り組みを実施していくとともに、事業統合に伴う事業の定着化を図ります。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	10-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	文化財				
事 業 名 （ 目 標 ）	町の歴史的建造物や文化遺産を知る機会の提供				

2　事業実施状況

「幾寅獅子舞体験会」を実施し、幾寅獅子舞保存会による幾寅獅子舞の演舞の披露、獅子の中に入ったり、道具を触って使ってみる体験をすることで、町の郷土文化を理解するとともに、幾寅獅子舞の普及を図りました。
町広報誌やホームページで継続的に周知を行っています。

3　事務事業の評価

新型コロナウイルス禍において、実施可能な事業を行い、町無形文化財に触れる機会を作ることができました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

より多くの方に知ってもらうため、町広報誌やホームページで継続的に周知していくとともに、啓発事業に取り組んでいきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	10-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	文化財				
事 業 名 （ 目 標 ）	イトウによる環境学習				

2　事業実施状況

平成21年に制定したイトウ保護管理条例に基づき、イトウの分布及び生息状況の把握・環境保護等の他、小・中・高校生にイトウ及び本町の豊かな自然環境を知ってもらう取り組みとして、イトウの生態やその生息環境、そこに生息する他の生物について観察等を実施しました。

3　事務事業の評価

イトウの適正な保護管理が実施された他、町民共有の財産として次代に継承する取組の推進が図られました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

イトウの適正な保護管理に努めながら、環境学習を通して児童等への生物や自然環境への興味・関心の向上を図るとともに、自然体験を通じて町民の自然災害に対する知識・適応力向上につながるよう事業展開します。 また、イトウの生息に象徴される本町の豊かな自然環境を保全し、かつ資源として活用することとの両立がなされるよう努めていきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	11-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	家庭教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	子ども朝活事業				

2　事業実施状況

生活習慣が乱れやすい長期休業中（夏休み・冬休み）の、規則正しい生活習慣のきっかけづくりとして、高校生や地域ボランティアの協力を得て、子ども朝活事業「南プ塾」を開催し、学習・運動・体験活動を実施しました。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による自粛生活をがんばった子ども達へ、「子どものための体験活動」として、ラフティング体験と金山果樹園のベリー摘み体験を実施し、地元の大自然を活かした活動を満喫するとともに、地域の産業を知る良い機会となりました。
（夏休み2日間：参加者　65名　冬休み2日間：44名　ラフティング体験3日間　100名　ベリー摘み体験3日間：89名）

3　事務事業の評価

規則正しい生活習慣及び体験活動機会の提供推進が図られました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

各関係協力機関や学校と連携し、実施内容等の充実に努めながら事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	11-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	家庭教育				
事 業 名 （ 目 標 ）	生活習慣を考える機会の提供				

2　事業実施状況

子ども朝活事業や学校における生活リズムチェックシートの活用により、規則正しい生活習慣のきっかけづくり推進しています。
就学児健診の空き時間を活用し、「ちょっと一息！雑談タイム」として、子育てに関する意見交換や新たな就学児童を持つ親としての心がけ、学校における生活等について、情報提供を行いました。

3　事務事業の評価

各家庭において規則正しい生活習慣について考える機会となりました。 親同士の交流の場を作ることで、各家庭における子育てや教育に対する取組の推進が図られました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

各関係協力機関や学校と連携し、実施内容等の充実に努めながら事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	12-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
事 業 名 （ 目 標 ）	関係団体との協働				

2　事業実施状況

平成30年度より、体育スポーツの振興及びスポーツ関係団体の活動促進を図るため、社会体育事業の実施・運営について、町スポーツ協会加盟組織及び総合型地域スポーツクラブ「ゆっく」に移管して取り組んでいます。
内容：町民カヌー教室、町民登山、町民フロアカーリング大会（ゆっく）
町民ソフトボール大会（軟式野球連盟）、町民ミニバレーボール大会（排球連盟）
町民スキー教室（スキー連盟）　※町民ミニバレーボール大会は、新型コロナウイルス拡大のため中止

3　事務事業の評価

各団体が社会体育事業を運営することで、団体活動の活性化が図られた他、参加者が増えるなどの成果をあげています。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

今後も町内スポーツ関係団体と連携しながらスポーツ活動の振興に努めるとともに、ニュースポーツの取り組みについて検討していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	12-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
事 業 名 （ 目 標 ）	アスリート補助金				

2　事業実施状況

子育て家庭世帯への経済的な支援と町民のスポーツ活動の振興を図るため、各種スポーツの全道・全国・国際大会等への出場に要する経費への財政的な支援を行いました。
（R2実績　2件・交付対象経費の80％を助成）

3　事務事業の評価

スポーツ活動の振興と子育て家庭世帯の経済的な負担軽減が図られました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

制度周知を行いながら、今後もスポーツ活動の振興と経済的な負担軽減を図るための取り組みとして、事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1　事業計画概要

番号	12-3	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
事 業 名 （ 目 標 ）	スポーツ少年団				

2　事業実施状況

町スポーツ少年団本部に4つの少年団が加盟し活動しています。町としては、補助金を交付し団体の活動を支援しています。
また、教育委員会主催事業や各関係団体と連携した事業において少年団の種目に取り組むことで、興味や関心を持つきっかけとすることや少年団活動の底辺拡大を推進しました。
（子ども朝活事業、ヴォレアス北海道かみかわ訪問キャラバン、北海道日本ハムファイターズ出前型教室
子ども会スポーツ交流会　カーリング体験、町民スキー教室）

3　事務事業の評価

活発な少年団活動が展開されていることから、児童が競技に触れる機会を通して興味や関心を持つきっかけを作ることができました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4　今後の方向性及びその方策等

少年団活動の推進を図るため財政的な支援の継続と、加入児童の減少傾向を抑制するため、競技に触れることで、興味や関心を持つきっかけを作っていきます。また、指導に関する研修等を行い、指導者の育成を図ります。	方向性
	継続

9 前年度点検･評価対象事務･事業の状況

前年度の点検・評価対象事務・事業のうち、今後の方向性で廃止、休止、完了とした事務・事業以外の当該年度における点検・評価の結果は次のとおりです。

（1）当該年度点検・評価対象事務・事業

前年度点検・評価対象事務・事業名 （廃止、休止、完了事務・事業を除く）	前年度 総合評価	当該年度 総合評価	備　考
学　校　教　育			
1 確かな学力			
1学力向上に向けた取組			
① 家庭学習の習慣化・一人学習ノートの取組み	A	A	
② 個別補充学習による子に応じた指導の充実	A	A	
③ メディア等に触れる時間のルールづくりの推進	B	B	
④ ICT 機器活用や土曜授業の継続	A	A	
⑤ 習熟度別学習などのきめ細かな指導	A	A	
⑥ 小中高連携の取組を推進	A	A	
2教師力向上			
① 授業力向上に向けた講習会の開催	A	B	
② 道内モデル校への視察研修	A	B	
③ 指導力向上のための研鑽	A	A	
3中学生への英語・数学・漢字検定に対する支援	A	A	
4複式学級におけるきめ細かな指導	A	A	
5工夫された読書活動	A	A	
6国の「ＧＩＧＡスクール構想」の推進			
①　小中学生１人１台の端末機の整備	―	A	新規
②　各学校の高速大容量ネットワーク環境の整備	―	A	新規
③　教員のＩＣＴ活用能力の向上に向けた研修機会の確保	―	B	新規
2 豊かな心と健やかな体			
1心を育むふるさと教育の推進	―	A	新規
2体力づくりの充実	A	A	
3ネットモラルの指導徹底	B	B	

	４スクールカウンセラーによる支援継続	A	A	
	５いじめ根絶に向けた取組	B	B	
	３ 信頼される学校			
	１地域とともにある学校づくり	A	A	
	２避難訓練などの計画的な実施	A	A	
	３交通安全や防犯意識の向上	A	A	
	４「１日防災学校」の実施	A	A	
	５安全で安心な給食	A	A	
	６新型コロナウイルス感染症感染予防の強化	―	A	新規
高 等 学 校 教 育				
	４ 高等教育			
	１進路に応じた教育活動の実践	A	A	
	２地域の特色を活かした学校づくり	A	A	
	３補助や助成などの継続	B	B	
	４部活動における中高連携事業の充実	B	B	
	５学校運営協議会の設置	―	A	新規
生 涯 学 習				
	５ 少年教育			
	１体験活動の場の提供	B	A	
	２小中学生の芸術鑑賞機会の提供	A	A	
	６ 青年教育			
	１活動機会の提供	B	B	
	７ 成年教育			
	１婦人団体と連携した取組と活動支援	A	A	
	２千里大学	A	A	
	８ 芸術文化			
	１主体的な文化活動の支援	A	B	
	２芸術文化に触れる機会の提供	A	B	
	３本にふれあう機会の充実	B	A	
	８ 公民館活動			

9 前年度点検･評価対象事務･事業の状況

	1自治会活動としての事業の推進	―	A	新規
	9 文化財			
	1町による歴史的建造物や文化遺産を知る機会の提供	A	A	
	2イトウによる環境学習	A	A	
	11 家庭教育			
	1子ども朝活事業	A	A	
	2生活習慣を考える機会の提供	A	A	
	12 体育スポーツの振興			
	1関係団体との協働	A	A	
	2アスリート補助金	A	A	
	3スポーツ少年団	A	A	

（2）当該年度点検・評価対象事務・事業について

令和２年度における事務・事業点検評価項目は４７事務事業で、前年度において点検・評価対象とした事務事業は４５事務事業、新規項目は１２事務事業でありました。

前年度総合評価で「A」と評価した３２事務事業のうち、当該年度においても「A」評価とした項目は２８事務事業、「B」評価としたものは4事務事業となっています。

又、前年度「B」と評価した８事務事業のうち、当該年度「A」評価が２事務事業、「B」評価が６事務事業という結果でありました。

今年度新たに評価対象とした７事務事業については、「A」評価が６事務事業、「B」評価が１事務事業になっています。

10 学識経験者

令和２年度教育委員会事務の管理及び執行の状況における点検・評価の方法や結果等について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者として南富良野町教育委員会教育行政評価委員から意見等を聴取し、知見の活用を図っています。

１．南富良野町教育委員会教育行政評価委員

氏　　名	職　業　等
上　坂　　利　江	団体臨時職員(保育士資格保有)
小　林　　弘　幸	農業（社会教育主事資格保有）

２．意見聴取日等

日　　時	場　　所
令　和　３　年　８　月　２０　日	役場会議室
令　和　３　年　９　月　　２　日	

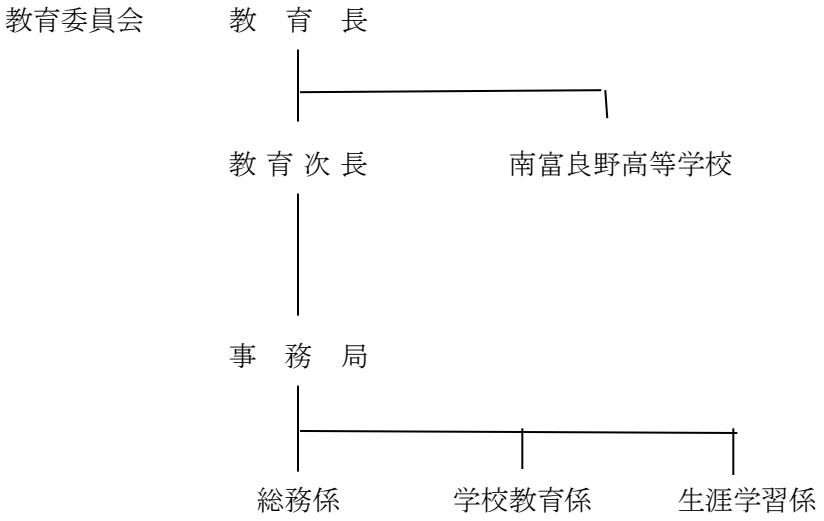
３．意見の内容

（１）各事務・事業ごとの点検・評価に関することについて

各評価委員から点検・評価に対し出された意見の内容については、「８教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果（評価シート)」に記載しています。

11 教育委員会の組織

1　教育委員会委員（令和２年度在籍者）

職　名	氏　　名	任　　期	保護者	備　考
教育長	岩渕　秀一	令和元年 11 月 16 日～ 令和 4 年 11 月 15 日		第２期目
教育長 代　理	河野　髙好	平成 30 年 10 月 1 日～ 令和 4 年 9 月 30 日		第４期目
委　員	大神　裕全	令和元年 10 月 1 日～ 令和５年 9 月 30 日	○	第２期目
委　員	柴田　昭江	令和２年 11 月 16 日～ 令和６年 11 月 15 日		第２期目
委　員	金村　萌絵	平成 29 年 10 月 1 日～ 令和３年 9 月 30 日	○	第１期目

2　事務局組織（令和２年度現在）